

法人名	株式会社スローライフ	代表者	喜井 茂雅	法人・事業所の特徴	理念である「自分されたり言われて嫌なことはしない言わない」という関わり方を常に心掛け、なじみの関係を大切にして、在宅での生活が継続できる支援を行っています。お祭りなど地域の行事活動に積極的に参加させていただき、地域とのふれあいを大切にしています。
事業所名	しょうきぼたきのうほうむ3丁目	管理者	西川嵐		

項目	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議に参加していただいている地域の方や家族様にサービスについての自己評価内容を報告し、「サービス評価」を行った。 ●散歩や庭作業など感染症対策をしながら、外出する機会が増えている。 ●職員全員で利用者様の状態を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●総括表を自社ホームページに掲載し、共有する。 ●庭作業や散歩など感染症対策を実施しながら、継続して外出の支援をする。 ●利用者様の状態について職員全員で共有・話し合いを行い、継続してできることを支援する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●環境整備・感染症対策をはじめ、挨拶などできている。 ●季節の行事に合わせた調理や飾り作りなどを利用者様と一緒に作業している。 ●園芸活動 ●縫物など行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●衛生管理に気を付ける。 ●園芸活動及び収穫への支援を継続 ●季節行事の飾りなど利用者様と一緒に活動し、環境を作っていく。 ●日常生活の中で利用者様同士が交流できる環境を作る。
C. 事業所と地域のかかわり D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●リモートなどの交流会に積極的に参加し多方面からの意見を聞けるようにしている。 ●感染症対策のため運営推進会議は文書開催となり地域と交流の機会が減った。 ●文書や報告の際は直接会う事で、地域の方からの意見をもらえるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外に出向く機会が減っているので、リモートの会など継続して参加していく。 ●交流する機会は減ったが、散歩など外出する時に近所の方へ挨拶を継続する。
E. 運営推進会議を生かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●資料作成時に、自分たちの活動を見直すことができている。 ●運営推進会議開催後に資料を送付することで、利用者様の日々の暮らしが伝えやすくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分たちの活動を見直すだけでなく、職員同士で案を出し合えるように話し合いの場を持つ。 ●文書開催をする際、情報発信が一方的になりやすいため意見をもらえるように工夫が必要。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ●防災・避難訓練について行っていることを地域や家族様へ周知が出来ていると感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難訓練など開催した際に、HPへの掲載を継続していく。